

## 成果 授業評価アンケートから(Q3、Q5 の代表的コメント)

記述回答のあったアンケート総数を掲げておくと、各回答は、本講座の複数の授業内容に触れていることが多いので、1 件につき 1 意見という関係にはなっていない。

**Q3 特にどの授業が役に立ちましたか。またどのような点が役に立ちましたか (設問 12 この授業はその後の図書館利用や学習に役に立ちましたかという間に、3 そう思う 2 まあそう思う という回答をした学生が対象の設問)**

記述回答のあったアンケート総数: 124 件

- 図書、雑誌・新聞記事、論文等の資料検索全般について(40 件以上)  
「パソコンを使った資料・図書・雑誌記事・論文の検索方法についての授業。いくつか知っているものもあったが探したかったが検索方法を知らなかったもの、検索自体できることを知らなかったものもあったので講義で学んだことをこれからの授業で役立てていこうと思う。」  
「この授業を受ける前、雑誌の探し方や外部データの利用法がはっきり分かりませんでした。この授業が受けられて本当に良かったです。これから、ゼミの課題や卒業論文の作成にはきっと役立ちます。」  
「雑誌・記事索引についての授業と実習。特に国会図書館の HP と明治の OPAC を利用した資料検索を習ったので参考文献の幅が広がって雑誌記事が身近になりました。」
- OPAC に関する言及(32 件)「OPAC での検索を実際に行うことによって、レポートの資料を探すときに役に立った」
- データベース、外部データベース利用に関する言及(20 件)「資料を検索する際に外部データベースがとても役立つこと」
- レポート・論文の書き方(26 件)「論文の検索システムの使い方。レポート・論文の書き方。(今までレポート・論文の書き方やそのための資料の集め方がよくわかっていなかったが、授業を受けてよく分かった。)」
- その他: 実習授業に対する肯定的評価が目立った。著作権や、インターネット上にある情報の検索方法などについても、新しい知識を得られたという回答があった。また、この講座が、大学での学習全般に好影響を与えていると伺わせる次のような回答もあった。  
「図書館に行く機会が増えた。」「他の授業のレポートを作るのに、資料を集めやすくなった。」「必要な本を見つけられるようになった。」「ゼミの資料収集において OPAC やデータベースなどの使い方が役に立った。」「必要な本を探すときに早く見つけることが出来るようになった。」

**Q5 この授業がもっと良くなるためには、どのような点を改善したらよいと思いますか。**

記述回答のあったアンケート総数: 96 件

「講義形式での授業はあまりいない。論文のテーマ選択の幅が 3 つだと図書館のほしい本がすぐ少なくなってしまう」といった意見に代表されるように、受身の講義ではなく、「実習」重視の授業を望む声が多く、また、レポート課題についても、改善の要望があった。さらに、授業環境に関連して、静粛を強く求める声、実習用パソコンの増設を求める声が多かった。

- 実習時間を増やす(多数)
- パソコンで実習を行う際には使用する部屋を増やして、1 人 1 台使えるくらいにすべき。
- 授業人数を減らし、あるいはしゃべっている人を追放し実習の時間を増やす。
- 講義内容の順番をもっと工夫する。締め切り間近になってレポートの書き方を教わっても実行する時間がない。